

社会学委員会
災害を克服する地域社会と社会的モニタリング検討分科会
(第26期・第7回)

議 事 要 旨

1. 会議名 社会学委員会災害を克服する地域社会と社会的モニタリング検討分科会
 (第26期・第7回)
2. 日 時 令和7年5月20日(火) 18:00～20:10
3. 形 式 オンライン会議
4. 出席者 青柳みどり、浅川達人、池田恵子(幹事)、岩井紀子、梅屋潔、玉野和志、
 中澤秀雄(幹事)、増田聡、町村敬志(副委員長)
 オブザーバー: 市村高志、阿部晃成

5. 議 題

(1) ヒアリングの結果共有について

第6回分科会開催後に実施された以下のヒアリングについて、概要が共有され、質疑が行われた。

4月25日(金) 坂田静香氏(全国女性会館協議会協議会理事)および藤井宥貴子氏(元熊本市男女共同参画センターはあもにい館長)へのヒアリング(本文書原案への意見聴取)

4月27日(日) 下山健一氏(白鷗大学特任教授、ジャーナリスト、元内閣官房内閣広報室内閣審議官)へのヒアリング(本文書原案への意見聴取)

5月1日(木) 防災庁設置準備室主査村上周平氏、参事官補佐大山璃久氏との情報共有

(2) 意思の表出文書の成案に向けた検討

意思表出文書の原案について、中澤幹事から概要が説明され、出席者間の意見交換を行った。

(3) 今後の26期分科会の進め方について

- ・ 防災学術連携体からの意見聴取について、浅川委員が担当する。
- ・ 1週間をめぐり文書改訂案を作成し、6月初めまでに開催する幹事会で確認し、これを防災庁設置準備室あて送付し、コメントを求める。
- ・ また同改訂案について、分科会内で書き込みの形で意見を述べる。
- ・ 以上の結果を踏まえ、およそ6月半ば頃をめぐり、最終の文案をまとめ、幹事会で確認する。根本的な改変などがない場合には、この幹事会文書を日本学術会議事務局に提出し査読手続きに入る。

- ・ 査読結果が戻ってきたところ、分科会を開催し、対応について協議をおこなう。

(4) その他

- ・ 次回の本分科会開催日時は上記(3)を踏まえ未定であり、こんご必要に応じて日程調整を行う。

以上